

# 浦和市・大宮市・与野市合併協定調印式を開催

去る9月5日の第6回合併協議会終了後、3市の市議会議員や市民を前に3市による合併協定調印式が開催されました。

調印式では、はじめに、浦和市助役から「合併協議の経過」が、そして、大宮市助役から「合併協定書の説明」が行なわれ、次いで、浦和市長、大宮市長、与野市長による合併協定の調印や、立会人として土屋埼玉県知事や石原合併協議会会長、3市議会議員・議員らによる署名・押印が行われました。

また、土屋埼玉県知事から合併協定調印を祝う祝辞が、そして、3市長、合併協議会会長からは、これまでの合併協議を振り返ってのあいさつが行なわれ、最後に、与野市助役の閉会の言葉により調印式を終了しました。



土屋埼玉県知事

浦和市・大宮市・与野市合併協定調印式がかくも厳粛に執り行われましたことに對しまして心からお喜びを申し上げます。私は、かねがね、「これからの主役は市町村であり、市町村が豊かにならなければ国も豊かでない。」と申し上げてまいりました。こうした中で、市民生活のさらなる向上を目指し3市が合併されますことは、まさに時宜にかなったこと

でございます。地方分権の推進に率先して取り組んでまいりました私にとりまして、21世紀へ向けて大いに飛躍が期待される100万都市が本県にも誕生しますことは大変心強い限りでございます。本日の調印式に至るまでには、いろいろ苦勞もあつたと伺っておりますが、今後は、3市が心を一つにして新市の建設に邁進することによりまして、埼玉の都づくり、関東の都づくりを進めていただきたいと思います。私といたしまして、新市の建設が円滑に進められますよう、できる限りの支援を行ってまいり所存でございます。

来年5月1日に誕生いたします新市のご発展を心からご祈念申し上げます。私のお祝いの言葉といたします。



石原合併協議会会長

私は、昭和63年、当時の竹下内閣の時に中央省庁の機関を地方に移転するという作業を担当いたしました。10省庁17機関、現在では18機関ですが、このプロック機関をすべて大宮操車場跡地に移転するという決定をした時から、この地域が是非とも一体となり立派なまちになって欲しいという願いを持っていました。それが、今日の合併調印式により、ようやく現実のものになったという実感を持ち、本当に感無量の思いです。

平成9年11月20日、3市の市長さん、議長さんにはじめてお会いした時に、皆さんから新たな100万都市の建設に向けた固い決意を拝聴し、私は任意の合併協議会の会長を引き受けさせていただいたところからです。

合併協議に入りましてからは、今日まで必ずしも審議が一直線であって来ただけではありません。それぞれ歴史も環境も違つ

3つの市が一緒になろうということですから、その過程で多くの議論が出てくることは当然であります。個別の問題については、3市の市長さん、市議会議員さん、いろいろご意見はございました。しかしながら、この地域に埼玉県のみならず関東の中心となる理想の都市をつくるという、そういう目標を皆さんが心の底に持つておられましたので、多少の紆余曲折はありましようとも、最終的には合併合意に達していただけるものと信じておりました。

3市合併による新たなまちづくりにつきましては、これから、なお多くの課題が残されております。しかしながら、これまで示された皆様方の大変なご努力、ご熱意、そして協力の姿勢があれば、これからの新しいまちづくりは必ず所期の目的のとおり達成できるものと考えております。

皆様方におかれましては、引き続きご尽力いただきますようお願い申し上げます。

## 相川浦和市長

このたびの合併は、平成6年5月の政令指定都市問題等3市議員連絡協議会の設置に端を発した合併協議が行われて以来、実に約6年4カ月もの歳月を経て、ここに合併の調印という歴史的な瞬間を迎えたわけで、たいへん感慨深いものがございます。

この間、幾多の課題もありましたが、互いに信頼と互譲の精神を持ちつつ、さらには21世紀を見据えた大乗的立場に立って多くの問題を乗り越えてまいりました。

現在、地方分権が叫ばれ、自治体の自主性、自立性が求められる中、3市が合併し、政令指定都市を目指し、全国に誇れる新たな都市を創造していくことは、まさに時代の要請であり、新たに生まれる「さいたま市」が関東の中枢都市として、また文字どおり、埼玉県の県都として大いに発展することが期待をされているわけであります。

本日、合併協定書の調印が完了しましたことに対しまして、土屋知事さん、石原会長さん、そして県関係者の皆様、市議会議員の皆様にお礼を申し上げますとともに、新市誕生まで幾つかの課題があるかと思いますが、引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 新藤大宮市長

本日、無事に合併調印式を終了させていただきましたことに対しまして、まずもって御礼を申し上げます。

この度の合併は、和をもって貴しとなすという心の中で、21世紀の関東の都づくり、さらには自立都市の構築に向けて、お互いに互譲の中で本日の調印式を迎えたところであり、誠に感無量なものがあるわけでございます。これもひとえに任意の合併協議会、法定の合併協議会の中で熱心なご協議を賜った委員の皆様方に加えまして、特段なるご配慮とご指導を賜りました議員の皆様方、そして土屋知事さんをはじめ、石原会長さん、関係の方々と多くの市民の方々のご支援とご指導の賜物と思っているわけでございます。

今日を契機といたしまして、3市の合併問題も、今後3市議会の中でご議決を賜り、さらには県への合併申請、県議会でのご議決など、次へのステップとして移るわけでございます。皆様方におかれましては、今後ともさらなるご指導とご鞭撻を伏して賜りますようお願い申し上げます御礼のご挨拶といたします。

## 井原与野市長

今日、合併調印式を迎え誠に感無量でございます。

これも、ひとえに土屋知事さん、そして会長にご就任いただきました石原さんのおかげであります。特に、石原会長さんには、大変ご迷惑をおかけしたところであり、けんけんがくがくの論議もございました。しかし、ようやく今日、調印式を迎えられたということは、3市の議会議員さん方の良識をもって今日に至り、そしてまた職員の方々の努力によって今日を迎えられたものと思っております。

私にとりましては、亡くなられた阪議員さん、そして岡田議員さんにご報告を申し上げたいと思います。またさらには、60年前に、私の父親が一生懸命この「さいたま市」をつくろうと努力をした、その事柄に対しても、私は墓石に報告申し上げたいと思っております。

今日の日ができたということは、私にとっては本当にありがたく、そしてさらに、今後とも3市の市民の方々がこの地に住んで良かったと言われるような、立派な都市を築き上げていくように努力していきたいと思っております。



協定書を手に握手する3市長

3市長、知事、協議会会長による調印

